

JRCA 2026 年度 第 4 回 理事会 議事録

2026 年 4 月 15 日（水）19:00～ Web 会議

参加者： 福永会長、高桑、西井、斉藤、
白井、伊藤、倉林、中島、石城。
渡辺、津田

1.各イベント毎の報告についての在り方について

①JRCA は設立当初の目的である「全日本ラリーの認知度向上」や「ギャラリーが楽しめるイベント作り」という原点に立ち返り、共通の目標を持って建設的な提案を行う。
過去に年間エントリー制度を実現させたように、提案型について今後検討する。

②エントラント部会の活動と構成

・ 2026 年に選手会から名称変更されたエントラント部会は、ラリー終了後に定期的に会合を開き、JN2 を除く全クラスの代表選手が参加するなど高い参加率で有効に機能している。選手間の問題意識の共有や、JAF 技術オブザーバーからの伝達の間としても活用されている。ただし、現状の運営には課題も指摘されている。クラス代表が 1 名だと個人の意見と誤解され不和を生む可能性があるため、複数名（例：ドライバーとコ・ドライバー各 1 名）にすべきという意見や、選手だけでなく長年参戦するエントラント（チーム）にも参加を促し、より多角的な意見を集めるべきとの提案があった。また、公平性を担保するため、将来的な部会員の選出方法（指名、立候補、選挙など）の検討や、意見集約を担う事務担当者の必要性も挙げられた。

2.2026 年度 全日本ラリー選手権 第 2 戦「SAGA RALLY NATIONAL CHAMPIONSHIP 2026 SUPPORTED BY BLUE BATTERY caos」について

・ 佐賀ラリーは、佐賀駅でのセレモニアルスタートなど準備期間も長く、イベント自体は非常に良かったと高く評価されている。特に金曜夕方のセレモニアルスタートは街の盛り上がりにも貢献した。また、リエゾン（移動区間）の時間設定が適切で、選手からも好評だった。

3.女性選手向の更衣室について

・ 女性選手向け更衣室の設置: 女性選手から着替え場所に苦慮しているとの声が上がっており、サービスパークに更衣室用テントを設置する案や、特定の時間帯に既存施設（HQ など）を更衣室として提供する案が提案された。これは女性に限らず全選手に関わる問題であり、JRCA ではなく JGR に提案すべき案件と考えられる。

4.会員募集について

- ・ JRCA の会員数は伸び悩んでおり（4 月 15 日時点で 77 名）、会員メリットの明確化が必要との指摘がある一方、「活動趣旨の理解があればメリットは不要」との反対意見も根強い。対策として、有益な情報交換の場となっているエントラント部会の活動をさらに活性化させ、その価値を通じて会員になる意義を伝えていくことや、選手が意見を言いやすい専門の事務局を設ける案が出された。

5.ファンクラブ会員からのお問い合わせについて

- ・ ファンクラブ会員となって 2 年目の方から「例えばサービスパークなど有料エリアの割引や無償化や、せっかく会員である以上専用クレデンシャルパスみたいなものがあると、ファンクラブ会員としてのメリットを検討しやすい」との意見が寄せられた。

6.その他

- ・ 国際情勢の影響: イラン情勢によるガソリン不足や価格高騰、航空運賃高騰による海外大会の中止などがラリー開催に与える影響について懸念が共有された。

7.次回理事会について

- ・ 第 5 回会議は 2026 年 5 月 18 日の週に調整されることになった

以上